

# The Expert



令和3年1月10日発行 ● No.135 ●

## ● 小児医療センター(小児心臓血管外科) 片山 雄三 講師(平成14年・横浜市立大学卒)

### 成人先天性心疾患外来を開設し、新生児から成人期の先天性心疾患に幅広く対応します

現在、小児医療センターにて、先天性心疾患に対する外科治療に携わっております。当院における先天性心疾患手術は1959年から開始され、60年の歴史を迎えました。これまで我々は、1300件以上の先天性心疾患手術を手がけてまいりました。国内外の他施設と同様、開始当初は比較的単純な先天性心疾患が主な手術対象でしたが、1980年以降は複雑な先天性心疾患に対する外科手術を開始し、術前診断・管理法の確立や手術法の改良により、手術成績が飛躍的に改善しました。当院が城南地区における小児医療の拠点病院として、小児医療センター・周産期センター(新生児科・産科)・麻酔科・集中治療室との連携体制が強化されて以降、手術件数全般の増加のみならず、新生児期から乳児期早期にかけて手術が、数多く行われるようになりました。特に胎児診断技術の進歩は目覚ましく、出生前から患児の治療計画を行い、出生後迅速に外科治療を行うケースも増加しています。また、段階的な治療戦略を必要とするような心疾患の割合が増加し、その段階間や外科治療完遂後の保存的治療がより重要となるため、小児循環器科の強力な尽力の下、カテーテル治療を含めた包括的な治療が可能となっています。

手術成績の向上に伴い、成人期に達した患児が急激に増加していることから、成人期医療体制への移行を目的として、成人先天性心疾患外来を循環器センターに開設いたしました。小児循環器科のみならず、循環器内科や成人心臓血管外科も含めたチーム医療体制の構築を強化しており、下記に対する適切な診断・治療を提供できる環境を整えております。

#### 1. 成人期に発見された先天性心疾患

心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、エプスタイン病、修正大血管転位症など

#### 2. 小児期に診断・治療を受けた方々の心不全等

ファロー四徴症術後肺動脈弁狭窄閉鎖不全・大動脈基部拡張、房室中隔欠損症術後房室弁閉鎖不全、完全大血管転位術後大動脈閉鎖不全・肺動脈狭窄、小児期人工弁置換術後、フォンタン手術後不整脈など

これらに対する適切な診断・評価のため、心臓MRIによる4D flow解析を積極的に活用し、効率的な情報共有を可能となるような取り組みを行っております。このような遠隔期の様々な問題にも積極的に取り組むことで、小児期における治療方針・手術方法へのフィードバックを行っております。

先天性心疾患を持つ子供やその御家族の笑顔が増え、未来が明るいものとなるように、引き続き取り組んでまいります。院内の関連各科の先生方はもとより、地域の先生方及び地域連携に関わる皆様には何かとお世話になります。何卒よろしくご依頼申し上げます。

## ● 診療予約

診療のご予約は、下記までご連絡下さい。  
診療日・診療時間をご案内いたします。

医療機関専用電話

パートナー

03-3762-6616 (直通)

(受付時間 平日 8:30~17:00、土曜 8:30~14:00)

(休診日:第3土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・創立記念日6/10)

## ● 診療日

片山 雄三 講師：  
月曜日 午前  
金曜日 午後(成人先天性心疾患外来)



東邦大学医療センター大森病院  
Toho University Omori Medical Center  
〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1  
03-3762-4151 (代表)  
<https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/>  
発行元：地域医療支援センター